学校番号	１０１２

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)看護国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	正しく読み、解くための力をつける現代文ステップ 1.5 看護医療系の国語常識（文栄堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

漢字・文学史・慣用句・ことわざ等基礎的言語事項についての学習を深めながら、評論文を中心に長文読解力の向上をめざす。また、医療福祉系にかかわる問題についてテーマを設定し、自分の意見を発表し、小論文を書く力をつけていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　看護・医療系進学希望者を対象に基礎的な学習から応用まで幅広い問題に取り組む。
　知識の定着を図るために毎時、漢字やことわざ、文学史についての小テストを実施する。
【思考力、判断力、表現力等】
　設問へのアプローチを考えながら、問題を解くプロセスを重視する。解答だけでなく、解答を導いていく過程を意識化する。
　各問題について、読みといていくための構成図を考える。
【学びに向かう力、人間性等】
　看護・医療に関する時事的な問題について考え、自分の意見をまとめる練習をする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・テキストを読んだり自分の考えを表現したりするために必要な、漢字の読み書きや、語句の知識を身につける。	・さまざまなものの見方・考え方を理解することができる。 ・テキストをめぐるさまざまな問いに対する答えを、自分の言葉で表現する。 ・自分と違う考えの持ち主を理解することができる。 ・他者と協働し、合意形成する力を身につける。	・社会的な課題を自分事として考える。 ・学びの主体となって、臆せず自分の考えを言葉にし、表現しようと努力する。 ・自分の実生活とテキストのつながりを考える。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	語彙を身につける 単元：１～８ ・漢字 四字熟語 対義語 類義語 ・ことわざ・慣用句 ・文学史 ・口語文法 ・小論文を書く	a:指示語や文章の構造を理解することができる。 b[書]:文章の工夫や構造を学び、自分の文章に活かすことができる。 c:テキストを読み、論理的に自分の意見を書くことができる。	・ワークブック ・定期考査 ・小テスト	・ワークブック ・定期考査 ・パフォーマンステスト	・ワークブック ・振り返りシート
2学期	文章を読解する力を身につける 単元：９～１８ ・漢字 四字熟語 対義語 類義語 ・ことわざ・慣用句 ・文学史 ・口語文法 ・新聞記事を読む ・小論文を書く	a:生活言語を理解する。 b[書]:語彙を扱い小論文作成ができるようになる。 c:生活に必要な語彙力を身につけようとしている。	・ワークブック ・定期考査 ・小テスト	・ワークブック ・定期考査 ・パフォーマンステスト	・ワークブック ・振り返りシート
3学期	1年間の総復習 単元：１９～２５ ・漢字 四字熟語 対義語 類義語 ・ことわざ・慣用句 ・文学史 ・口語文法	a:指示語や文章の構造を理解することができる。 b[書]:文章の工夫や構造を学び、自分の文章に活かすことができる。 c:テキストを読み、論理的に自分の意見を書くことができる。	・ワークブック ・定期考査 ・小テスト	・ワークブック ・定期考査 ・パフォーマンステスト	・ワークブック ・振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・書くこと　…　（20）時間

・読むこと　…　（40）時間